

平成 26 年度の「保険金・給付金のお支払い状況」について

平成 27 年 6 月 30 日

ソニー生命保険株式会社

平成 26 年度(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)のお支払いの件数、および支払査定の結果、お支払いに該当しないと判断した件数は、以下のとおりです。

◆保険金等のお支払い件数、お支払い非該当件数および内訳

平成 26 年度 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

		保険金					給付金						合計
		死亡保険金	災害保険金	高度障害保険金	その他	合計	死亡給付金	入院給付金	手術給付金	障害給付金	その他	合計	
お支払い非該当	詐欺取消	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
	不法取得目的無効	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	告知義務違反解除	5	0	0	15	20	2	294	170	0	16	482	502
	重大事由解除	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	免責事由該当	59	3	1	0	63	23	57	9	0	2	91	154
	支払事由非該当	2	0	75	10	87	0	154	10,848	29	20	11,051	11,138
	その他 ※	0	0	0	1	1	0	16	15	0	35	66	67
お支払い非該当件数合計		67	3	76	26	172	25	522	11,043	29	73	11,692	11,864
お支払い件数合計		5,137	30	243	2,077	7,487	2,488	128,381	81,604	44	12,132	224,649	232,136

※がん給付責任開始期前のがん診断による無効、時効による非該当の分類区分

*上記件数については生命保険協会策定の基準に則ってお支払い件数、お支払い非該当件数を計上しております。

【用語の説明】

詐欺取消	保険契約のご加入等に際して、保険契約者または被保険者に詐欺の行為があった場合に、ご契約を取消とするものです。この場合、払い込まれた保険料は払い戻しいたしません。
不法取得目的無効	保険金・給付金等を不法に取得する目的で保険契約にご加入等された場合に、ご契約を無効とするものです。この場合、払い込まれた保険料は払い戻しいたしません。
告知義務違反解除	保険契約のご加入等に際して、保険契約者または被保険者の故意または重大な過失により、告知していただいた内容が事実と相違していた場合等に、ご契約を解除するものです。
重大事由解除	保険金・給付金等の請求時に関する詐欺行為があった場合や、他の生命保険契約の重複により、給付金等の合計額が著しく過大で保険制度の目的に反するおそれがある場合に、ご契約を解除するものです。
免責事由該当	保険約款所定の年数以内の被保険者の自殺や、保険契約者または被保険者の故意または重大な過失による事故等、ご請求内容が、保険約款で定める免責事由に該当する場合は、保険金・給付金等をお支払いいたしません。
支払事由非該当	保険約款に定める所定の要件に該当しない障害状態について高度障害保険金をご請求いただいた場合や、保障対象外の手術について給付金をご請求いただいた場合等、ご請求内容が、保険約款で定める支払事由に該当しない場合は、保険金・給付金等をお支払いいたしません。

◆四半期ごとの時系列推移表

	平成 25 年度				平成 26 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
お支払い件数合計	55,965 件	57,040 件	56,903 件	54,413 件	58,283 件	58,257 件	56,892 件	58,704 件
お支払非該当件数合計	2,759 件	2,702 件	2,859 件	2,691 件	3,019 件	2,958 件	2,926 件	2,961 件

◆お支払いに該当しないと判断した具体的事例(平成 26 年度)

お支払い非該当理由	種類	事案例(概要)
無効(その他)	がん入院給付金 退院後療養給付金 がん手術給付金 がん診断給付金	<p>被保険者は、右乳癌により入院し手術を受け、がん保険のがん診断給付金、がん入院給付金、退院後療養給付金、がん手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、ご請求の際に提出いただいた診断書より、がん給付の責任開始期の前日までに乳癌と診断確定されていたことが判明したため、がん保険は無効(※)とし、がん診断給付金、がん入院給付金、退院後療養給付金、がん手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p> <p>※告知以前または告知の時からがん給付の責任開始期の前日までに、がんと診断確定されていた場合には、保険契約は無効となります。</p>
支払事由に非該当	手術給付金	<p>被保険者は、子宮頸管ポリープにより子宮頸管ポリープ切除術を受けられたとして、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、手術給付金の対象となる手術の「その他の子宮手術」における除外規定「子宮頸管ポリープ切除術を除く」に該当するため、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p>
告知義務違反解除	特定疾病保険金	<p>被保険者は、早期大腸癌と診断されたとして、特定疾病保険金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、ご請求の際に提出いただいた診断書より契約日以前に健診での指摘が何われたため、事実の確認を行ったところ、ご契約以前の健康診断で便潜血陽性の指摘を受け、精密検査を指示されていたことが判明いたしました。</p> <p>健康診断での異常の指摘は、ご契約時に告知していただく事項ですが、告知をいただけていないため、ご契約は解除のお取り扱いとさせていただきます。特定疾病保険金はお支払いいたしませんでした。</p>
支払事由に非該当	手術給付金	<p>被保険者は、下顎骨骨折により下顎骨折非観血的整復術を受けられたとして、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、受けられた手術は非観血的手術(メス等を使わずに皮膚の外から骨折した骨を元にもどす手術)であり、手術給付金の対象となる上顎骨・下顎骨・顎関節観血手術(※)ではないことから、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p> <p>※観血手術とは皮膚や筋肉をメス等で切開し、骨折した骨などの病変部等を露出したうえで医師の直視下で行う手術をいいます。</p>
支払事由に非該当	手術給付金	<p>被保険者は、子宮体癌により、放射線治療を受けられたとして、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、照射した総線量が 45 グレイであったため、手術給付金の対象となる手術の「新生物根治放射線照射」における制限規定「50 グレイ以上の照射」に該当しないため、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p>

支払事由に非該当	手術給付金	<p>被保険者は、水平埋伏歯により抜歯手術を受けられたとして、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、手術給付金の対象となる手術の「上顎骨・下顎骨・顎関節観血手術」における除外規定「歯・歯肉の処置に伴うものを除く。」に該当するため、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p>
告知義務違反解除	<p>疾病入院初期給付金</p> <p>疾病入院給付金</p> <p>手術給付金</p>	<p>被保険者は、加齢性白内障により入院し手術を受けられたとして、疾病入院初期給付金、疾病入院給付金、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、ご請求の際に提出いただいた診断書より契約日以前の受診が伺われたため事実の確認を行ったところ、契約日以前に当該疾病を含む複数の疾患で通院されていたことが判明いたしました。</p> <p>判明した通院は、ご契約時に告知していただく事項ですが、告知をいただけていないため、ご契約は解除のお取り扱いとさせていただきます、疾病入院初期給付金および疾病入院給付金、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p>
無効(その他)	<p>がん入院給付金</p> <p>退院後療養給付金</p> <p>がん手術給付金</p> <p>診断給付金</p>	<p>被保険者は、右乳癌により入院し手術を受けられたとして、がん入院給付金、退院後療養給付金、がん手術給付金、診断給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、ご請求の際に提出いただいた診断書より、がん給付の責任開始期の前日までに右乳癌と診断確定されていたことが判明したため、がん保険は無効(※)とし、がん入院給付金、退院後療養給付金、がん手術給付金、診断給付金はお支払いいたしませんでした。</p> <p>※被保険者が告知以前または告知の時からがん給付の責任開始期の前日までに、がんと診断確定されていた場合には、保険契約は無効となります。</p>
支払事由に非該当	手術給付金	<p>被保険者は、右中指伸筋腱断裂により腱縫合術を受けられたとして、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、手術給付金の対象となる手術の「筋・腱・靭帯観血手術」における除外規定「手指・足指を除く」に該当するため、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p>
支払事由に非該当	手術給付金	<p>被保険者は、左網膜裂孔により左網膜光凝固術を平成 27 年 1 月 13 日と平成 27 年 2 月 6 日に受けられたとして、手術給付金をご請求されました。</p> <p>しかしながら、被保険者は過去に、平成 27 年 1 月 9 日に受けられた同手術をご請求され手術給付金が支払われており、手術給付金の対象となる手術「レーザー・冷凍凝固による眼球手術」の制限規定「施術の開始日から 60 日の間に 1 回の給付を限度とする。」に該当するため、手術給付金はお支払いいたしませんでした。</p>

無効(その他)	がん入院給付金 退院後療養給付金 がん手術給付金 がん診断給付金	被保険者は、早期胃癌により入院し手術を受けられたとして、がん入院給付金、退院後療養給付金、がん手術給付金、がん診断給付金をご請求されました。 しかしながら、ご請求の際に提出いただいた診断書より、がん給付の責任開始期の前日までに胃癌と診断確定されていたことが判明したため、がん保険は無効(※)とし、がん入院給付金、退院後療養給付金、がん手術給付金、がん診断給付金はお支払いいたしませんでした。 ※被保険者が告知以前または告知の時からがん給付の責任開始期の前日までに、がんと診断確定されていた場合には、保険契約は無効となります。
告知義務違反解除	疾病入院初期給付金 疾病入院給付金 手術給付金	被保険者は、右卵巣腫瘍により入院し手術を受けられたとして、疾病入院初期給付金、疾病入院給付金、手術給付金をご請求されました。 しかしながら、ご請求の際に提出いただいた診断書より同病での契約日以前の受診が判明いたしました。 判明した受診は、ご契約時に告知していただく事項ですが、告知をいただけていないため、ご契約は解除のお取り扱いとさせていただきます、疾病入院初期給付金および疾病入院給付金、手術給付金はお支払いいたしませんでした。

以上